

令和7年度 第2回羽黒地域振興懇談会 会議概要

1 日 時 令和8年3月19日(木)午後3時00分～午後5時00分

2 場 所 羽黒庁舎 2階 会議室

3 出席者 委員 佐藤潤到委員、堀誠委員、加藤省二委員、土岐彰委員、阿部良一委員、榎本光男委員
齋藤保子委員、五十嵐満委員、小南孝子委員、齋藤一志委員、長南慈恵委員、
菅井奈緒委員、工藤重美委員

羽黒庁舎支所長 山口幸久、総務企画課長 板垣誠、市民福祉課長 山口えみ
産業建設課長 小林尚志、総務企画課長補佐 成澤紀美
総務企画課総務企画専門員 山本成己

本所 地域振興課専門員 下本敬己

4 会議次第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 報 告

- (1) 令和7年度第1回羽黒地域振興懇談会での意見への対応について
- (2) 鶴岡市公共施設等の使用料の改定について
- (3) 大東保育園の閉園について
- (4) 羽黒地域の降雪状況について

4. 意見交換

- (1) 令和8年度羽黒庁舎主要事業について
- (2) 新泉地区地域活動センター整備基本構想について

5. その他

- (1) 鶴岡市の公共交通施策について

6. 閉会

5 会議資料

- ・【資料1】令和7年度第一回羽黒地域振興懇談会での意見への対応について
- ・【資料2】鶴岡市公共施設等の使用料の改定について
- ・【資料3】大東保育園の閉園について
- ・【資料4】令和7年度の積雪状況について
- ・【資料5】令和8年度羽黒庁舎主要事業について(予定)

3 報告

- (1) 令和7年度第1回羽黒地域振興懇談会での意見への対応について
(総務企画課長、産業建設課長、市民福祉課長、地域振興課説明)

委員より意見・質問

【委員】

5 番のタクシー実証実験を実施してということで、これは夜の代行車両不足の問題だったと思うのですが、配車アプリの導入支援ということで、観光の例えば月山方面とか湯殿山方面とか、配車アプリの導入についての実証実験もあり得るのでしょうか。

【産業建設課長】

観光にも導入してはどうかとの意見であったが、今は夜間対応という意味合いが大きいですが、今後需要を調査しながら、検討して参りたいと考えています。

【委員】

2月に手向の鳥居に外国の方が 1 人でぼつんと立っていて、夜近くになって心配して聞いたところ、鶴岡駅まで行きたいとのことであり、アプリ使いながら道を歩いていた。配車アプリにより対応できるのかを考えていければ羽黒山も利用しやすくなるのではないかと思います。

【委員】

2番の老人福祉センターは何年に処分制限期間になるのか教えてほしい。

【市民福祉課長】

具体的な数字は分からないが、社会福祉協議会に確認したときは、50年とのことであった。

【委員】

コミセンとの関連はありますが、社会福祉協議会とは何回か話し合いをしていますか。時期的なこともあるので、早めに協議を行うべきではないか。

【市民福祉課長】

社会福祉協議会とは具体的な話をしていないが、改築等を行っているので、簡単にはいかないと思われるので、コミセンと泉地区地域活動センターとの話し合いの際に、一緒に話をすべきと考えています。

【委員】

観光に関しての質問ですが、今は何万人程度の観光客がありますか。

【産業建設課長】

羽黒山として、100 万人というのが前回御縁年の際に訪れた観光客であったが、今は大体半分位になっています。

【委員】

結構オーバーツーリズムという言葉聞くが、繁盛と活気を考えて、オーバーツーリズムになってから、そこを考えるのもよいのかと思います。

- (2) 鶴岡市公共施設等の使用料の改定について
(3) 大東保育園の閉園について
(4) 羽黒地域の降雪状況について

委員より意見・質問

【委員】

羽黒地域で生まれた方が10人しかいないとのことであったが、羽黒地域の方でも保育園は他地域に行くことがあるのか。

【市民福祉課長】

保育園については、第五希望まで取っています。羽黒地域以外に居住の方でもブルボンに勤務していれば羽黒地域に通園するパターンもあります。このように、通勤地で決めたり利便性で決めたりしています。

【委員】

大東保育園が令和8年度で園児募集停止することであったが、大東保育園、泉保育園、貴船保育園が交流事業として子供たちが遊びに行っており、大変好評であると伺っているため、続けて頂きたい。

【市民福祉課長】

交流事業として行っているのは知っており、良いところは続けていけるように協議していきます。

【委員】

いではの使用料改定率について、5%とあり時間で置き換えてこのようになっているのかと思うが、入館料の改定率も5%とあるが、単純に比較すると10%も増えているように見受けられます。あと一つは、先ほど羽黒地域の新生児が10名との回答であったが、3月31日までで増加する見込みはありますか。

【産業建設課長】

改定率については、先に説明した通り、経費の増加率を基に算定し、これを回収するため必要な収入総額を比較し改定率として表示させていただいております。このため、単価がそれぞれ5%上がるという表示にはなっていません。

【市民福祉課長】

3月までの出生の見込みですが、保健師さんに伺ったりしているが0人であり、年度見込みとして全部で10人ということになります。

【委員】

改定率について、鶴岡市全体で改定率が上がっているとの説明であったが、市全体の改定率と各地域での改定率は、どのくらい差があるのか。全部同じような%で上がっていくのか。

【産業建設課長】

改定率は、各施設の運営形態や収支状況に応じて算定しています。このため、各施設により改定率は異なっている状況であり、上限は、積算時に30%と決めています。参考までにスキー場は、市内3施設ありますが、すべて同じ15%上げているとことで調整している例もあります。

【委員】

現行と改正案とあるが、去年の利用人数で計算した場合に、改正案で収入は増えますか。

【産業建設課長】

収入としては、増える見込みであります。

【委員】

大東保育園に3人預けたが、その当時調乳室が無く乳児を預けることが出来なかった。そのため、泉保育園へ預けている方もいた。その後に、調乳室も設置されて乳児の受け入れも始まったが、今の現状から鑑みると、何かミスマッチを感じてしまいます。大東保育園で、大変良い思い出をさせていただいたのでなくなるのは非常に残念である。由良保育園も園児が減少しているようであるが、閉園の方向性とかはあるのか。

【市民福祉課長】

由良保育園についても、同じように園児は減ってきているため、検討している所であります。

4 意見交換

(1) 令和8年度羽黒庁舎主要事業について

(総務企画課長、産業建設課長、市民福祉課長説明)

委員より意見・質問

【委員】

市民提案型事業は、地域振興会議で選んだ事業になりますか。また、3年間続けて行う事業でよろしいか。

【総務企画課長】

年数に決まりは無く3年間と決まっていない。昨年と一昨年の2年間だけ募集を行った。今年は募集は行っていません。

【委員】

羽黒地域のお仕事見つけたは、本当に子供たちに対して、地元の職業とかいろんなことで勉強になって良いと思います。来年は、せっかく丑年御縁年なので、羽黒山の杉の木を切ったのを再利用してキーホルダー等を作ってみてはどうかと思いました。せっかく来てくれた方へお土産になるようなものを作ってほしい。また、お仕事見つけたなので、地元の方で作ってもらえばいいかなと思いました。また、そういった活動が子供たちへのアピールにもなるのではないのでしょうか。

【委員】

羽黒高校の生徒の発案で、古い鳥居のコンクリートを削ってお守りに加工して販売したりしました。

【委員】

主要事業にある活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進の中に、泉活動センターの再整備とそういう項目が羽黒地域としては大きな事業でないかと思います。金額的には、いくら予算に計上されているかはわかりませんが、主要事業の中に入れておく必要があるかと思います。泉活動センターの再整備という項目でマッチするだけでなく、動き自体を羽黒庁舎の主要事業として位置付けておいてもらいたい。

【総務企画課長】

今回の羽黒庁舎主要事業につきましては、今年から事業名変更になったが、地域まちづくり未来事業として記載したものになります。今回の泉地区地域活動センターの再整備についても主要事業であることに間違いはないが、現状で予算がついている事業ではないため、記載がなかったものです。

【委員】

これからいろいろ進めていく上で、後から資料説明あるかもしれませんが、再整備検討委員会や地元

との合意形成を図りながら進めていく上で、予算がゼロであっても项目的にはしっかりと位置づけて今後の羽黒地域区長会とかで、再整備計画を提示するときにはそういう項目を示しながら、説明するなりして、地域全体として整備するために、意見を出しましょうとなるのではないかと思いますのでよろしく願います。

【支所長】

先ほど総務企画課長から、今回のこの資料につきましては、予算ベースで記載させていただいておりますので、間違いなく副会長おっしゃる通り、羽黒庁舎の主要事業ではございますので、今後の記載については、内部で調整して検討していきますので、よろしく願います。

【委員】

主要事業なので、言えがいいのかもしれませんが、主要政策に入ってくるのかと思われまますので重要政策に記載して頂ければよいと思います。

【委員】

観光協会において、精進料理の魅力発信事業とか映画ロケ支援の事業で毎年予算つけていただいておりますが、こちらをただ行うのではなく、本当に観光誘客に結びつくような形で活用していかなければいけないと自戒を込めて思っているところであります。あと非常に金額大きいのが、羽黒山丑年ご縁年の誘客ですとか、手向地区の持続可能な歴史まちづくりとかこのようなところも含めて、予算に見合ったとかそれを超えるような成果を出すように頑張っていきたいと思っております。

【委員】

手向地区に暮らしていて予算がすごく大きいのにビックリして、小さい地域なので住民が予算をどのように使っているのか内容を知る会が年度当初にあつたら良いのかと思っておりますし、それで結果が出たらよかつた等の判断もできます。せつかくの予算であるので、使い道を知れたら良いと思っております。

【支所長】

長年にわたり手向地区には、市から重点的な施策としていろいろ投資をしているところで、昨年度末までに大体 5000 万位となっております。今年度以降も継続して事業をしていくことになるわけなので、地域の方へどのようなところへ予算が使われているかなど、こちらの情報発信が下手なところもあるかと思っておりますので、内部でも、情報発信のあり方を検討して、どういうところに予算が使われているかをちゃんと伝えていけないといけないということも、内部で検討しておりますので、お時間をいただいて整理していきたいと思っております。

【委員】

手向地区は雪がある時期はすごくシーンとしていて、寂しい感じですが、雪が解けてゴールデンウィーク、夏を迎えて観光客の皆さんを迎えるにあたり、羽黒山に来てよかつたって思えるようなおもてなしができると思います。どうしても、駐車場が少ないとか、車で来ても通り過ぎてしまうお客さんもいたりするので、駐車場に誘導できたり、案内表示によりお知らせもして、ここに止めれば良いとか通り過ぎることなく降車して散策してもらえそうな取り組みがあればすごくいいのかなと思っております。

【総務企画課長】

事業として、サイン設置を今年度実施いたしまして、八基を手向地域に設置しました。手向地区を対象としたまち歩きツアーも 1 回実施しました。今後の取り組みとしても、手向地区を町歩きする方々が増えるようにしたいと考えております。

【委員】

こういう事業は、行政で考えて実施している事業でなく、民間の考え方を取り入れる事業として、民間の考え方を反映させないと、行政だけで考えて実施するだけでなく、そこに携わっている方々の、声を取り入れるような事業にしていけば、なお良い。手向を散策する考え方を持ってないと、観光客来ても、登って帰ってしまうようなことにしかならないので、手向の方の意見を吸い上げて、やったら良いと思います。

【総務企画課長】

昨年8月に締結した5者協定において、宿坊組合では宿坊への立ち寄りが出来るように行動計画を立てていますので、5者協定だけでなく各種団体と事業を一緒にやり意見等をお聞きしながら進めてまいります。

【委員】

私は神社においでいただく立場ですので、本当に地域に利用していただければと思っています。せっかく来た人が神社だけでなく、地域に滞留することで、先ほどの杉の素材もそうですけど、丑年御縁年というキーワードが生業にも繋がっていくのは少ないのかなと思います。今御山に昭和の時に来ていたぐらいの人は残念ながら来ていない。また、来られる人の中身が変わっているので、地域との関わり方も変わってきていると思います。白装束の方がたくさん来ていた時と今は本当にインバウンドも含めて、地元の受け入れも、まだまだ至っていない部分はもったいないところですので、様々な知恵を出し合い地域が盛り上がるような御縁年になっておりいけば良いですし、地域が活性化するような事業展開と思っておりますので、是非とも一緒に盛り上がっていきたいと思います。

【委員】

これまでの地域まちづくり事業が羽黒庁舎の主要事業として名称を変えたのか。

【総務企画課長】

来年度から地域まちづくり未来事業がなくなりまして、地域活性化事業に移行になります。本所の主管課に予算がついたり、直接地域活性化事業として庁舎に計上したり、形態を変えているところでございます。

【委員】

まずはソフト事業として、地域の皆さんが関わった事業ということで確かやってきたかというふうに思いますし、基金も、旧町村の持ち寄りの基金が残っている中で、今度の地域活性化事業ということで、名称が変わるだけで今までのまちづくり事業と考え方としては同じなのか。

【支所長】

どこが違うかというのは、名称は変更になっており、委員ご指摘のとおり基金については、そちらの新たな事業に統一されることとなります。内容については、旧のまちづくり未来事業を継続したような形になっており、中身はほとんど変わっておりません。予算の組み方、事業そのもののあり方について根本的なところがちょっと違ってきているというような状況であります。

【委員】

企画は、例えば総務課とか、実際に動くとなるとそれぞれ、本所の担当課がやることになり、例えば手向の景観事業についても同じような形になるかと思えますし、道路については土木でやるなどあるかと思えます。先ほどの泉地区地域活動センターについては、コミ推が事業主体になるかというふうに思いますが、表記の仕方として、今までは未来まちづくり事業として表で提示しているわけで、主要事業ということで標記すると先ほどのような話になりますので、出し方として、区長会の方では羽黒地域に関連した事業ということで全部出すと思いますので、この場でも同様に提示してもらいたい。

【委員】

月山高原農地委員会に予算をつけていただきましてありがとうございます。これからも、相当の耕作放棄が増えそうで、今年から枝豆の栽培やめるため、大量に畑出ることが想定されるため、道路に面しているところの両脇は借りて植えるようにしている。これからもう少し拡大して、去年 20 ha やらせていただいたが、天候が悪く 10 ha で息切れしました。今年は 20 ha のベースあるので、もう 10 ha は麦畑を増やしたい。麦も、連作障害もあるらしいので、相方として枝豆が最高なのだが、令和 9 年度から法律が変更になるため、大豆も選択枝にありますのでそこを使いながら、景観のためにやっているわけではないが、せつかくある財産をみすみす流すことももったいから、今回の予算で、パン業界にはそれなりに名が通ってきて販売量もどんどん増えています。今度新たに麺をやります。もう何年もかかっていますが、大型の工場を石川県金沢市の金沢製麺で、やることになりまして、今専門家に麺の依頼様々やっています。評価が高くなっており、実は来月から山形市が全国で一番のラーメン需要ということで 4 年連続とりましたので、あれは全部アメリカカナダオーストラリアの小麦なので、県産小麦に切り換えとして欲しいと市長にお会いして、まずプッシュして、ラーメンカットがあるみたいなので、極力こちらの方でも頑張り需要にこたえるように、海外の小麦とほぼ同じような値段で提供するような感じで、切り換えを要請して、生産拡大できるようにチャレンジしたいと思います。

【委員】

この事業内容には記載ないのですが、私も斎藤さんなどと一緒に子育て世代で、親として羽黒地域に求めたいのが、来年度から部活動が学校でなくなるっていうのがすごく大きくて、学校職員も減少しているとは思いますが、今でも部活動に入らないお子さんというのがすごく多くて知り合いも、中学校のバレーコーチをしています。三川中、一中、二中と 3 校合わせても、バレー部に 8 人しかいない、自分の子供はスポーツをさせる環境で育てたいが、何かスポーツをしないで育ていく子供がいるというのは私の中ではもったいないなあとと思っています。羽黒地域は子供が元気な地域にしたいので、スポーツに取り組める事業を、何かこれから考えていけたらなと思います。

【支所長】

教育委員会が管轄ですので、直接こちらだけではお答えできかねる部分もありますが、1 つは生徒が少なくなり、単一の学校では部活動がなりたない状況が生まれているというのと、地域へのスポーツ移行を進めている状況でクラブに入る児童や生徒がかなり増えてきている状況であります。教員の働き方改革と合わせて、部活動の地域移行も進めている教育方針であります。意見が出されたということについては教育委員に改めてこちらへお伝えしつつ、今後どのような取り組みができるかについても、教育委員会と打ち合わせをして、検討させていただきたいと思います。

【委員】

今のやつに関連して、田川地区ソフトボール協会の会計しております。部活が今ほとんどうまく機能にしないと、今スポーツクラブに加入するように進んでいる。先生方の働き方改革も、並行して進んでおります。協会会計で事務局しておりますと、そちらにみんな負担を求められている状況である。大会あると前日にグラウンド整備を行っている状況であり、協力体制もないためなかなかしんどい。教育委員会でもう少し協力して頂ければと思います。この前、スポーツクラブの事務局を担当している方と、お話しする機会がありまして、スポーツクラブ自体も存続の危機にあり、運営できない状況であり、体制を維持するのも困難とのことです。テレビでは、うまく行った事例や、全国的な事例が紹介されておりましたが、それでもいろいろと課題はありますが、方向性としては部活動の地域移行で進むとは思いますが、協力体制についても、再度考えてもらいたいです。

【委員】

手向地区の話で、いろんな活動はありますが、例えば周知や集客をすとなったときに、今新しく神路大橋が出来たが、携帯が通じない状況であり、携帯を使うとなると、橋から結構上ったところまで行く必要があります。もし事故あり、連絡する際に、電話できないということ把握してもらいたい。どこでも、携帯が通じるような環境にしていだきたい。集客に際して何が困るかという、トイレの場所、駐車場、食事をする場所が重要であります。食事に際して、3時間待ちましたと言う話が出てくるわけですが、車で来てくれる、食事を提供するようなところを募り、例えば旧羽黒第一小学校とか、ふるさとセンターのような駐車場がある場所を活用するとか考えてはどうでしょうか。あと、公衆トイレが早く閉まり使えないところもあるので、そういうところは行政でないと改善できないと思います。駐車場の情報を発信するなどしていただければ、事前に分ればそこまで行くことは無いと思います。山頂の駐車場がいっぱいだと分かればビジターセンターで止まってもらい、そこから歩いていく方法もある。集客したのがスムーズに流れるきっかけになるのではないかなと思うことがありましたので、ちょっといろいろご検討いただければと思います。

【産業建設課長】

混雑緩和については、いろいろところで、検討はしているがなかなか解決には至っておりません。今、アイデアをいろいろいただきましたので、今後取り組めるところから検討して参りたいと考えています。トイレ、食事、駐車場というキーワードをいただきました、市の予算がありますのですぐに取り掛かるとは言い切れませんが、こういったキーワードも念頭に観光政策として取り組んで参りたいと思います。

(2)新泉地区地域活動センター整備基本構想について

(総務企画課長説明)

委員より意見・質問

【委員】

今回この整備の考え方が、本日出された資料ですが、1年前の資料では、市の整備方針案として近接した2つの集会施設を集約することで、施設総量の適正化と維持管理及び運営コストの削減を図り、利便性の向上と利用拡大を図るとあり、地域活動センターを建て替えてコミュニティーセンターの一部機能を集約すると記載されている。今回は、今後の人口減少から見直しを踏まえて投資事業の平準化や公共施設の適正化があり将来の市民負担を軽減するため全市で見直しを進めているということだが、今の段階でどう見直すかどういいう考えになっているかは、示せるのか。

【総務企画課長】

先ほど説明いたしましたように見直すということで、最初の段階から、整備方針について検討していくことになるかと思えます。具体的にどういった方がいいなということにつきましては、ただちょっと今申し上げる段階ではなく、庁内の合意が図れてないため、外部に今の段階で出せるお示しできる状況ではないというところでは。

【委員】

実際にこれから整備して方針を定めていく上では、地域住民の合意とか、意見とか、或いは検討委員会として要望書を提出した意見とかも聞きながら、進めていくのは変わらないわけですね。

【総務企画課長】

変わりはありません。

【委員】

整備方針案を決定する際に、皆様の意見を聞く場は設ける予定はありますか。

【総務企画課長】

特に考えていません。

【委員】

泉地区地域活動センターというのは、泉地区のこの拠点であり、防災上の避難場所であり、普段はコミュニティ活動でいろいろ地区住民が利用するように利便性の高いような施設にしてくださいと要望を出してきている。コミセンというのは、羽黒地域全体の施設なわけであり、羽黒地域の方々が集まり、芸能まつりやお祭りなどをしてきた。それをどうするのかは羽黒地域の方から意見を聞いて進めていく必要があるのではないかと思います。

【総務企画課長】

おっしゃる通りでありまして、羽黒コミュニティセンターは羽黒地域全体の施設でありますので、泉地区だけでなく羽黒地域全体の方も含めて、どのような場で説明をしていくかについて整理していきたい。

【委員】

各団体に対して、泉地区地域活動センターを作る、新しくするに対して、どういう目的でこういうふうにつけてもらいたいですかと言うアンケートがきました。住民から聞かないといけない、各団体から聞かないといけない、芸文協から聞かないといけないとなると、時間ばかりかかって終わらないようになるのではないかと危惧します。

【総務企画課長】

令和6年度にアンケート調査を行って、いろんな意見をいただいておりますので、あとそれから先ほど申し上げました、再整備検討委員会からの要望書もありますので、そのような意見を精査し、素案をつくりまして、それに対してご意見を頂戴していきたいと考えているところであります。

【委員】

地域活動センターとコミセンが一緒になるのが、ありきではないわけですね。

【総務企画課長】

両方の施設を単にそれぞれ改修し建て替えますと、一番高いコストがかかると思われまので、まずは機能集約が基本になりますので、その方向で検討して参りたいと考えています。

【委員】

政府は積極財政を謳っていて、過疎地域の設備投資も採択されやすくなるため、そういう機会を逃すことがないようにしていただきたい。

【総務企画課長】

市の負担をできるだけ減らすように、国の補助につきましても、国の動向を注視していきたいと思えます。

【委員】

泉地区地域活動センターがどうなるのかについて、体育施設の考え方がありますが泉地域活動センターに人工芝張りの運動するところがあり、利用率は高くなっている。利用団体に対して、施設が壊れたから使用できないと言うのは、簡単でないと思います。部活動がなくなり、地域スポーツとしてやっていきたいと思います。そういうふうなことも考えながらいくと、コミセン、体育施設、福祉センターを含めた周辺全体の整備方針を検討していく必要があるのかなというふうに思います。

【委員】

整備の考え方で、体育施設について継続は難しいというふうに記載されていますが、他の施設の有効的な活用として、羽黒体育館、羽黒体育センターありますが、今でこそ補修が終わり雨漏りしなくなった。これまでは、雨降ったら半分使えないような状態であったので、その辺を加味して体育館に行けば良いという発想ではないと思いますし、単に融通利かせれば良いというふうにはならないと思うので、その辺も考慮しながら、ある程度基本方針を考えていただければありがたいなと思いました。

【委員】

市民の意見として、施設を維持して新築で建て替えるのは良いと思いますが、20年後の成人は、たった10人しかいないので、今のやつを維持して、子供達に借金を委ねるという話になる。せっかく合併して随分経ちますから、羽黒はグラウンドが良いのがあるとかして、集中投資する。例えば櫛引は体育館に投資する。全市挙げて人口減少の局面にあつて、投資出来る金額は限られてくると、今建築単価が狂ったみたいに高くなっているの、これをみんなで負担するとして、国から補助貰えばとはあるが、今の状況では青天井は無いです。身軽な市の運営として、集会所を併設したような、作りで人口減少に備えるような体制として、50年後も見据えた施設としたほうが良いと思います。どんどん借金して箱物を建てるのは立派だけれども、減少局面であるからこそ、やることあるのではないかと思います。これだけのスピードで人口減少する中で、自分たちの子供孫に借金残すようなことないように、できれば集約して、機能のある施設で何かの大会を持ってくるような施設にするように、知恵出してランドデザインを考えて要望すべきと思っています。

【委員】

いろいろな集約の仕方があり、様々な考え方があるので、7月にどのような方向性が出てくるのかちょっと期待しております。

5. その他

- (1) 鶴岡市の公共交通施策について
(地域振興課説明)

委員より意見・質問

→意見なし

- (2) 支所長コメント

【支所長】

長時間にわたりまして、お忙しい中、貴重なご意見等いただきましてありがとうございます。今回につきましては議会に関わるもの等を含めましてご説明させていただいた上で、皆様の貴重なご意見をいただき、また行政として、なかなか気づかない点について、いろいろなご意見いただいて、まことに大変ありがたいと思っています。今回の提案の中では協議会等もありましたけれども、負担の公平性、人口減少化で、自治体としてどう持続していくかという大きな課題の中でいろいろな検討が進められている状況でございます。今11万人ですけれども、いずれ10万人を超えるという予測もされております。人口減少率では本当に急速に減っていくというような状況が見通しとしてあり、鶴岡市が持続できないのではないかとこの話も出てきているという状況でございます。今後も課題を解決するために皆さんからご意見をいただきました

いと思っておりますし、行政だけではできない時代となり、住民からも協力いただくようなことが、これからますます増えていくと思っておりますので貴重なご意見をこれからもちょうだいできればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

【総務企画課長】

委員より情報提供があります。

【委員】

神社の境内にて、新たに行われる事なので報告させていただきます。昨年は実証実験ということで、羽黒山入域協力金等のお願いした経緯がございました。9月18日から2ヶ月ほど、そこで様々なご意見をちょうだいしながら行いました。石段の登り口の社務所の横、山頂の参道の2ヶ所に受付を設けて、ご協力をお願いしました。QRコードからも募金できるようにしました。これは基本的に、頂戴した資金を原資にして、今ある杉並木や石段というものを後世に守り伝えていこうというのが基本であります。それに加えて、地域の営みとしてまちづくりに集約するかもしれませんが、そういうものに対して、それを元手にして使っていこうと思います。基本的には、一般財団法人として別組織を立ち上げ、その中で運営をしていく仕組みづくりを考えています。羽黒山杉並木まちづくり協議会を立ち上げて、3年目になり、今回が最終年度になりますので、後継の組織として財団を立ち上げて、運用できれば、地域に対する大きな動きにもなってくるのかと思います。4月29日の連休あたりから受付を設けて入金でお願いをするような場所が出てくると思いますので、そのようなものに使われていることを覚えてもらえたらと思います。

【総務企画課長】

鶴岡市では今年の来年度4月から地域庁舎の組織再編ということで、今まで総務企画課市民福祉課、産業建設課の3課制でありましたが、4月から総務企画課と市民福祉課が統合になりまして、地域づくり推進課になります。

以上。